

2020年度（令和2年度）

冬休みにおすすめする本

選定 北海道学校図書館協会

選定協力 札幌市学校図書館協議会

	表紙画像	書名 著者名他 ISBNコード	出版社 出版年(月) 本体価格	※選定コメント もしくは出版社による紹介など
幼児				
1		ねられん ねられん かぼちゃのこ やぎゅう げんいちろう/作 978-4-8340-8567-9	福音館書店 2020.9 900円+税	かぼちゃの子が寝られないのには、訳がありました。 「ねられんねられん」とリズムカルに進んでいきます。
2		きょうりゅうのサン きょうぼくはなまえをもらった かさい まり/文 星野 イクミ/絵 978-4-7520-0940-5	アリス館 2020.9 1,500円+税	生まれたての恐竜が、沢山の仲間たちに名前を聞きながら、自分の名前を探します。 最後に両親にもらう名前に、命のつながりと両親の愛を感じます。
3		トラといっしょに ダイアン・ホフマイアー/作 ジェシー・ホジスン/絵 さくま ゆみこ/訳 978-4-19-865150-3	徳間書店 2020.8 2,000円+税	怖がりだったトムが、絵に描いたトラと夜に出かけます。 トラと一緒に進んで行くうちに、怖さが無くなっていきます。 絵が美しい本。
4		けしごむぼん いぬがわん ほりかわ りまこ/作 978-4-86549-225-5	ひさかたチャイルド 2020.7 1,400円+税	身近にある消しゴムやペンのキャップをスタンプにして、絵と話ができました。 自分もやってみよう！と、子どもたちの遊びも生まれる本。
5		ぼくといっしょに シャルロット・デマトーン/作 野坂 悦子/訳 978-4-89309-674-6	ブロンズ新社 2020.6 1,400円+税	「ぼくといっしょに」大冒険の始まりです。 沢山の発見と共に大きな想像力が生まれます。
小学校・低学年				
1		ぞうともだちになった きっちゃん 入江 尚子/文 あべ 弘士/絵 978-4-8340-8565-5	福音館書店 2020.9 1,300円+税	“だまって”のんびりと青草を食むイメージの象ですが、おでこから低周波を出しておしゃべりしているそう。 きっちゃんが象を観察し、絆を育み、心を通わせていく、心温まるお話。
2		カールは なにをしているの？ デボラ・フリードマン/作 よしい かずみ/訳 978-4-7764-0973-1	BL出版 2020.8 1,500円+税	ミミズのカールが毎日毎日、土を掘っている意味を知るまでのお話。
3		こうまのマハバット 市川 里美/作 978-4-7764-0969-4	BL出版 2020.7 1,400円+税	キルギスの村に暮らすジャミーラは、この夏初めて祖父母の住む山で過ごすことに。 足をケガした子馬を一生懸命世話をする、少女と子馬の成長物語。

4		鳥のおはなし絵本② すずめのまる かんちく たかこ/文 箕輪 義隆/絵 978-4-7520-0935-1	アリス館 2020.4 1,500円+税	今も昔も日本で一番身近な鳥であるスズメの女の子「まる」が、巣立ってから子育てをする約1年間のお話です。 野生の鳥としての生活を知ることができる絵本。 「鳥のおはなし絵本」シリーズ②
5		かしらつもり×もらったつもり かさい まり/作 北村 裕花/絵 978-4-7743-3077-8	くもん出版 2020.7 1,400円+税	大切な恐竜図鑑を貸したつもりのれん。 ところが、貰ったと勘違いしただいち。 子どものよくある話をテーマに描いた、子どもらしい1冊。
6		ステラとカモメとプラスチック うみべのおそうじパーティー ジョージナ・スティーブンス/作 イジー・バートン/絵 イトウ のぶこ/訳 978-4-265-85175-1	岩崎書店 2020.7 1,600円+税	最近カモメのニューちゃんが出てくる贈り物が、ストローやペットボトルのふた。 海に捨てられたプラスチックだったのです。 具合が悪くなったニューちゃんを心配したステラは、みんなで海辺をきれいにしようと動き出します。 環境問題を考える絵本。
7		どこからきたの？おべんとう 鈴木 まもる/作・絵 978-4-323-02469-1	金の星社 2020.5 1,300円+税	おべんとうの袋の中には、おかあさんのメッセージが入っていました。 それは食材の旅の物語。 愛情のこもったお弁当が誘う、食べる喜びの深さを知る絵本。
8		雨の日の地下トンネル 鎌田 歩/作 978-4-7520-0944-3	アリス館 2020.9 1,400円+税	雨が降った時、道路にたまった雨はどこへ行く？ 雨から街を守るための仕組みを、美しく迫力ある絵で描き、わかりやすく伝える科学絵本。
9		トウクバをたべよう インドのごちそうスープ プラバ・ラム&シーラ・プリーツ/文 シルバ・ラナデ/絵 あまがい ひろみ/訳 978-4-909809-25-4	イマジネイション・プラス 2020.9 1,500円+税	トウクバは、うどんのようなスープ。 おばあちゃんの作るトウクバが大好きなツェリン。 目の見えないツェリンは、音と匂いで、おばあちゃんを見つけます。
10		アルフィー ゆくえふめいになったカメ ティラ・ヒーダー/作 石津 ちひろ/訳 978-4-86484-168-9	絵本塾出版 2020.9 1,500円+税	カメのアルフィーは、ニアと6才の誕生日に出会った。 あまりにおとなしいので、ニアに忘れられそうになった。 そして、7才の誕生日に、アルフィーは消えた。 戻ってくるでしょうか。
小学校・中学年				
1		ウサギとぼくのこまった毎日 ジュディス・カー/作・絵 こだま ともこ/訳 978-4-19-865098-8	徳間書店 2020.6 1,400円+税	騒ぎを巻き起こすウサギをめぐる、少年の家族とその周りの人達との交流を描くほのぼのとしたドイツの物語。
2		俳句ステップ！ おおぎやなぎ ちか/作 イシヤマ アズサ/絵 978-4-333-02833-7	佼成出版社 2020.8 1,300円+税	七実には秘密がありました。 それは公園で出会ったおばあさんと、密かに俳句の勉強を続けていること一。 少ない言葉に思いを乗せる俳句の魅力や、句会を通じて人と心を通わせる楽しさを描いた、俳句入門にもぴったりの物語です。

3		AIロボット、ひと月貸します 木内 南緒/作 丸山 ゆき/絵 978-4-265-07266-8	岩崎書店 2020.8 1,200円+税	未来科学研究所の所長さんが貸してくれたAIロボットで、自分の分身「エイト」を作った栄太。 1ヵ月しか一緒にいられないのに友情の気持ちが……。
4		ぼくのあいぼうはカモノハシ ミヒヤエル・エングラール/作 杉原 知子/絵 はたさわ ゆうこ/訳 978-4-19-865151-0	徳間書店 2020.8 1,400円+税	ある日、少年が出会ったのは、人間の言葉をしゃべるカモノハシ。動物園から逃げ出し、故郷のオーストラリアに帰りたいという。少年の父もオーストラリアに単身赴任中。二人は母や姉に秘密で旅に出る冒険物語。
5		世界遺産知床の自然と人とヒグマの暮らし 伊藤 彰浩/写真 伊藤 かおり/文 978-4-87981-711-2	少年写真新聞社 2020.9 1,600円+税	知床のヒグマは、地元の観光資源でもあり、害獣でもある。ヒグマと人がともに安全に暮らすには、どうすればよいのかを考えさせられる本。
6		いのちのカプセルにのって 岡田 なおこ/著 サカイ ノビー/絵 978-4-8113-2646-7	汐文社 2019.12 1,600円+税	「どんな命も宇宙の果てから長い旅をしてきた仲間だ」と聞いたあかりは、子犬のマモルと暮らしながら成長していく。
7		魔法のたいこと金の針 茂市 久美子/作 こみね ゆら/画 978-4-251-04471-6	あかね書房 2019.12 1,200円+税	小さな仕立屋の前に、太鼓のバチが落ちていた。雪のふる夜に、受け取りに来たのは鬼の子だった。金の針が紡ぐ、不思議なお話。
8		いろいろ いろんなからだのほん メアリ・ホフマン/文 ロス・アスキス/絵 すぎもと えみ/訳 978-4-87981-695-5	少年写真新聞社 2019.12 1,900円+税	体が無くちゃ生きられない！ 成長のこと、性差のこと、健康のこと、脳のことなど……。人それぞれ違うところ、同じところを考えることができる本。
9		わたしたちの家が火事です 地球を救おうとよびかけるグレッタ・トゥーンベリ ジャネット・ウィンター/文・絵 福本 友美子/訳 978-4-7902-5395-2	鈴木出版 2020.2 1,500円+税	17歳の女の子がたった一人で声を上げた。 地球を何とかしないと！ 勇気ある行動が世界を動かした。 あなたは何をしますか？
10		動物たちが教えてくれる海の中の暮らし 佐藤 克文/文 木内 達朗/絵 978-4-8340-8585-3	福音館書店 2020.10 1,300円+税	南極の海の中で、アザラシやペンギンやクジラが、どんな暮らしをしているのか？ 水生動物研究の第一人者が探究した本。 たくさんのふしぎ傑作集
小学校・高学年				
1		きみの声がききたくて オーウェン・コルファー/作 P. J. リンチ/絵 横山 和江/訳 978-4-580-82421-8	文研出版 2020.7 1,400円+税	人間を信じることができなくて、吠えることもできなくなって、保護センターにいた子犬。 その悲しそうな瞳に同類の絆を感じたパトリック。 互いを無二のものとしてつながり、心を通い合わせる。 「相手を思いやる」ことの素晴らしさを一人と一匹は伝えてくれる。

2		ラグリマが聞こえる ぎたーよびびけ、ヒロシマの空に ささぐち ともこ/著 くまおり 純/絵 978-4-8113-2756-3	汐文社 2020.6 1,500円+税	亡くなったお父さんがよく弾いてくれた大好きな曲が、洋館から聞こえてきて。 美音（みおん）は、被爆ギターを仲立ちに、父・祖父とその友人を知ります。 76年もかかって癒される人のつながりが素敵です。
3		ガリガリ君ができるまで 岩貞 るみこ/文 黒須 高嶺/絵 978-4-06-519957-2	講談社 2020.7 1,400円+税	商品開発部の新入社員奮闘記。 「ガリガリ君」ができるまでがよくわかる、ほぼ事実に基づいた物語。
4		おじいちゃんとの最後の旅 ウルフ・スタルク/作 キティ・クローザー/絵 菱木 晃子/訳 978-4-19-865162-6	徳間書店 2020.9 1,700円+税	大好きなおじいちゃんが入院した。 死ぬ前におばあちゃんと二人で暮らしていた家にあるものを取りにいきたいと言う。 大好きなおじいちゃんのために病院を抜け出す計画を立てる。
5		北国からの動物記 10 ヒグマ 竹田津 実/文・写真 978-4-7520-0926-9	アリス館 2020.3 1,400円+税	「北国からの動物記」シリーズ⑩。 北の自然の守護神、ヒグマ。知床の大地で2頭の子どもと母グマを追う。 (本の帯より)
6		ギフト、ぼくの場合 今井 恭子/作 978-4-09-289303-0	小学館 2020.6 1,400円+税	父親が家を出てから、思い出のギターに心も封印した少年。 思いがけず小学校の演奏会で代奏することになる。 母子の日常、友達とのつながりの中で、自分で歩く道を見つけていく。
7		大嫌いな君に、サヨナラ いかだ かつら/著 978-4-569-78931-6	PHP研究所 2020.7 1,200円+税	謎めいた美少女の転校生・津波かれん。 嵐はなぜか気になりながら、2人はすれ違い。 彼女が周りに心を開かない訳が最後にわかり……。 嵐は「さみしいのは素敵な時間を過ごしたから」と伝えます。
8		父さんが帰らない町で キース・グレイ/作 金子 恵/絵 野沢 佳織/訳 978-4-19-865080-3	徳間書店 2020.4 1,400円+税	退屈な町にやってきた、きらきらしたカーニバル。 でも、そこで見た兵士のろう人形が……。? 少年の心を巧みに描く英国気鋭の作家キース・グレイの新作。 (本の帯より)
9		オオカミの旅 ロザンヌ・バリー/作 モニカ・アルミーニョ/絵 伊達 淳/訳 978-4-251-06574-2	あかね書房 2020.6 1,400円+税	敵の襲撃によって家族を失った若いオオカミ。 自分の故郷を作るために旅立ったスウィフトの苦難と成長、冒険をえがいた作品。
10		あおいの世界 花里 真希/著 978-4-06-519504-8	講談社 2020.7 1,400円+税	空想することが大好きなあおいは、クラスで浮いた存在になってしまった。 しかし、父の仕事の関係でカナダに引っ越すことになり……。 半年間の成長物語。

2020年度（令和2年度）

冬休みにおすすめする本

選定 北海道学校図書館協会

選定協力 札幌市学校図書館協議会

	表紙画像	書名 著者名他 ISBNコード	出版社 出版年(月) 本体価格	※選定コメント もしくは出版社による紹介など
中学校				
1		ハナコの愛したふたつの国 シンシア・カドハタ/作 もりうち すみこ/訳 978-4-09-290637-2	小学館 2020.7 1,600円+税	ハナコたち日系人は、太平洋戦争後、収容所から船で日本に戻ってきた。アメリカとは違う国で生きる家族の物語。
2		キャラメル色のわたし シャロン・M・ドレイパー/作 横山 和江/訳 978-4-7902-3369-5	鈴木出版 2020.8 1,600円+税	差別ほど、愚かで意味のない行為はない。これから社会を担う読者が少しでも理解を深め、意識を変えていくことを願う。
3		みんなに話したくなる感染症のはなし 14歳からのウイルス・細菌・免疫入門 仲野 徹/著 978-4-309-61724-4	河出書房新社 2020.8 1,400円+税	感染症の主な原因である「ウイルス」・「細菌」とそれらを防御するために体の中で働く「免疫」について解説。 「14歳の世渡り術」シリーズ
4		ワタシゴト 14歳のひろしま 中澤 晶子/作 ささめや ゆき/絵 978-4-8113-2727-3	汐文社 2020.7 1,400円+税	修学旅行で広島原爆資料館を訪れた中学生たち。5人を主人公に、それぞれが心奪われた「物語」を語っていく。題名は「渡し事」と「私事」を意味している。
5		大人は知らない 今ない仕事図鑑100 上村 彰子・「今ない仕事」取材班/構成・文 澤井 智毅/監修 ポビコ/漫画・イラスト 978-4-06-518972-6	講談社 2020.8 1,350円+税	これから必要とされる新しい仕事を、地に足をつけて考えていこう。大人にもおすすめ。文章、漫画、図、ワークシートあり。
6		団地のコトリ 八束 澄子/著 978-4-591-16724-3	ポプラ社 2020.8 1,400円+税	背は小さいがバレーボールに熱中する美月。下の階に住む1人暮らしの柴田さんの家に、女の子の存在を感じ取る。居所不明児童の問題を、中学生の少女の視点から描く。
7		かけはし 慈しみの人・浅川巧 中川 なをみ/作 978-4-406-06504-7	新日本出版社 2020.9 1,600円+税	林業技術者の浅川巧は、朝鮮での植林に携わる一方、朝鮮の文化に魅了される。柳宗悦と知り合い、「朝鮮民族美術館」を作る。実在の人物を描いた物語。

8		完司さんの戦争 越智 典子/文 コルシカ/絵・漫画 978-4-03-645110-4	借成社 2020.8 1,600円+税	好奇心旺盛な新潟の若本は、満州へ。 やがて戦争によって片足を失いながら、生き延びて日本へ戻る。 戦争が淡々と語られる。
9		お笑い芸人と学ぶ 13歳からのSDGs たかまつ なな/著 佐藤 真久/監修 978-4-7743-3094-5	くもん出版 2020.10 1,500円+税	「17の目標」だけでなく、「今日からできるSDGs 100のアクション」という章もあり、考えさせてくれる。
10		ハジメテヒラク こまつ あやこ/著 978-4-06-520137-4	講談社 2020.8 1,400円+税	学校祭で生花部の発表を実況中継する中一の綿野あみ、従姉の希望進路に刺激されて、脳内中継から、実況へ。 花メダルを贈ってもらったラストがいい。
高等学校				
1		夜フクロウとドッグフィッシュ ホリー・ゴールドバーグ・スローン メグ・ウォリツァー/作 三辺 律子/訳 978-4-09-290587-0	小学館 2020.7 1,500円+税	ある日知らない人から「私とあなたの父同士がつき合っている」とのメールが届く。 ゲイの父親を持つ2人の少女の「ワオ！」な物語。
2		ハリネズミは月を見上げる あさの あつこ/著 978-4-10-306334-6	新潮社 2020.8 1,450円+税	昨日までの世界が新しい色彩に変わる出会い！ 正反対の性格の二人の少女が紡ぐ青春物語。
3		たちどまって考える ヤマザキ マリ/著 978-4-12-150699-3	中央公論新社 2020.9 840円+税	新型コロナウイルスによるパンデミックで、世界が停滞し動きを止めた。 世界を渡り歩いた著者が、この状況で出した答えは「立ち止まること」、そして「自分で考えること」。 中公新書ラクレ 699
4		昨日星を探した言い訳 河野 裕/著 978-4-04-109779-3	KADOKAWA 2020.8 1,500円+税	将来は総理大臣となり、人類の平等が目標という少女と、彼女を応援すると決めた少年。 全寮制の中高一貫校を舞台に差別と偏見、不条理と闘った青春物語。
5		ゲノム編集とはなにか 「DNAのハサミ」クリスパーで 生命科学はどう変わるのか 山本 卓/著 978-4-06-519469-0	講談社 2020.8 1,000円+税	生命科学の革命「ゲノム編集」。 その歴史から今後の可能性、遺伝子編集技術クリスパーキャス9までを、易しく詳しく解説した入門書。 ブルーバックス B-2146